

# 矢掛町美川地区（令和3年度）

## [地区概要]

- 地区住民：1,018人
- 高齢者数：520人／高齢化率：約51%
- 作成主体：美川地区自治協議会

## [主な取組]

- 部会開催数：4回
- 検討の結果
  - ・地区を使った災害図上訓練（資源等の洗い出し）
  - ・地図にハザードを重ね、危険箇所の確認
  - ・計画作成を優先する者の対象者の選定
  - ・福祉専門職を交えた地域調整会議の開催
  - ・個別避難計画及びタイムラインの検討・作成
  - ・避難訓練の実施 等

## [上記以外の取組]

- 計画作成の優先度付け（対象者の整理）
- 個別避難計画（様式）の検討
- 要支援者への趣旨説明や生活実態の聞き取り



地域調整会議を開催し、要支援者の避難支援の手順等を確認する様子



避難訓練の様子

# 矢掛町美川地区（令和3年度）

## ■取組の流れ

部 会	進め方	内 容	参加者
第1回 (7/17 (土))	現地視察 講話（防災・福祉） ワークショップ	共通理解を図る ・ 防災や福祉に関する基礎知識の習得 ・ 計画作成の進め方の確認 ・ 地区の状況把握 （地区の特性の把握、強みや弱みの洗い出し）	地域住民（支援者）、自治会 役員、自主防災組織、消防団、 民生委員、社会福祉協議会、 アドバイザー、自治体職員
第2回 (10/2 (土))	ワークショップ	共通理解を図る ・ 地区のハザード状況の確認 ・ 計画作成を優先する者の確認 ・ 計画様式の検討（使いやすさ、項目検討）	上記と同様
<部会外>	第2～3回部会の 間に独自に取組	・ 個別避難計画作成の優先度付け（町） ・ 計画様式の検討（町） ・ <b>要支援者への説明や生活実態の聞き取り（地区・町）</b> ・ 計画様式への基礎情報の落とし込み（町） など	—
第3回 (10/23 (土))	ワークショップ (写真上)	共通認識を図る ・ <b>地域調整会議の開催</b> → <b>要支援者の避難支援に対する具体的方法や避難</b> → <b>支援の際に配慮すべき事項を確認</b>	要支援者、家族、福祉専門職、 地域住民（支援者）、自治会 役員、自主防災組織、消防団、 民生委員、社会福祉協議会、 アドバイザー、自治体職員
第4回 (12/11 (土))	実動訓練 (写真下)	実践する ・ 訓練想定を作成し、避難訓練の実施（計画の検証）	上記と同様